

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2004-91790

(P2004-91790A)

(43)公開日 平成16年3月25日(2004.3.25)

(51) Int.Cl.⁷

C09D 11/00
B41J 2/01
B41M 5/00

F I

C09D 11/00
B41M 5/00
B41J 3/04

E
101Y

テーマコード(参考)

2C056
2H086
4J039

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 19 頁)

(21)出願番号 特願2003-306597(P2003-306597)
 (22)出願日 平成15年8月29日(2003.8.29)
 (31)優先権主張番号 10/232035
 (32)優先日 平成14年8月30日(2002.8.30)
 (33)優先権主張国 米国(US)
 (31)優先権主張番号 10/232058
 (32)優先日 平成14年8月30日(2002.8.30)
 (33)優先権主張国 米国(US)

(71)出願人 590000846
 イーストマン コダック カンパニー
 アメリカ合衆国、ニューヨーク 14650
 43
 (74)代理人 100099759
 弁理士 青木 篤
 (74)代理人 100077517
 弁理士 石田 敬
 (74)代理人 100087413
 弁理士 古賀 哲次
 (74)代理人 100102990
 弁理士 小林 良博
 (74)代理人 100082898
 弁理士 西山 雅也

最終頁に続く

(54)【発明の名称】インクジェットインク組成物および印刷方法

(57)【要約】

【課題】 本発明の目的は、粉碎またはグラインディングを必要とせず、かつ分散剤の使用を必要としない、自己分散型粒子を用いるインクジェットインク組成物を提供することである。本発明のもう1つの目的は、上述のインクジェットインク組成物を使用する印刷方法を提供することである。

【解決手段】 水、湿潤剤、および金属化フタロシアニン着色剤を含むインクジェットインク組成物であって、上記金属化フタロシアニン着色剤が、式: M P c (S O₃ X)_a (S O₃ N R R')_b を有しており、式中、M、P c、X、a、b、R、およびR'は、本明細書中に既定の通りであり、さらに、上記金属化フタロシアニン着色剤の少なくとも50質量%が上記組成物において粒子として存在する、インクジェットインク組成物。

10

【選択図】 なし